

阿部 雄 一 氏

あべこう一 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

大雨 災害

阿部幹事長が現地視察

迅速、果敢、県民課題解決へ

今年6月から自民党千葉県連の幹事長職に就任した千葉市稲毛区の阿部雄一(あべこういち)県議は、議員としての政務活動はもとより、50名の自民党県議団をまとめる党務活動に精力的に活動しています。阿部県議は県政与党の幹事長として、県当局に対しても大きな指導力を発揮しており、先の千葉県内で発生した大雨災害では、いち早く被災地を現地視察し、県当局に対し早急な復旧対策を提案しています。

今回の県議会レポートでは、10月11日に開会した9月定例県議会から、阿部幹事長が加わって作成した自民党の代表質問のうち、当面の県政の主要課題に絞って、主な質問をご紹介します。

知事の政治姿勢

自民党代表 知事の政治姿勢について伺います。多様性が尊重され、誰もが活躍できる社会の形成に関する条例の骨子案は、どのような考えで策定したのか。

熊谷知事 私たちの社会は、さまざまな違いや個性、能力や価値観のある人々によって構成されており、多様な人々が互いを尊重しながら、関わり合い、影響を及ぼし合うことが、社会の活力や創造性の向上に相乗的に効果を発揮する

補正予算を追加提案

自民党代表 令和5年度9月補正予算はどのようなか、また、今回の大雨による被害について、予算ではどのように対応していくのか。

熊谷知事 今回の補正予算では、新型コロナウイルス感染症の感染経路上の位置付けが5類に移行したこと等により、社会経済活動が本格的に再開したことなどを踏まえ、生産性向上や省エネ等に資する設備の導入を行う中小企業への支援

原発処理水の海洋放出

自民党代表 アルプス処理水の海洋放出に、県はどのように対応していくのか。

あり、県民の皆様は条例制定の趣旨や目的、基本理念をご理解いただくとともに、広く意見を伺うため、9月1日からパブリックコメントを実施しているところです。

県としては、この条例のもと二人ひとりさまざま異なる個人として尊重され、誰もがその人らしく活躍することができる千葉県づくりに取り組んでまいります。



いすみ鉄道軌道敷の崩落現場を視察する阿部県議(Yシャツ姿)

●県政や千葉市稲毛区のご相談、ご意見をお聞かせください

あべこう一 県事務所

〒263-0043 TEL.043-287-8595
 千葉市稲毛区小仲台2-6-8-401 FAX.043-285-2192

阿部 雄一 検索 ホームページ <http://abe-koichi.com/>

コロナとインフルエンザ 外来医療体制を拡充へ!

患者数は緩やかに増加傾向

一般医療機関へ移行

自民党代表 この夏、新型コロナウイルス感染症の患者数が増加している状況において、県の対応はどうか。

黒野副知事 県では新型コロナウイルス感染症の患者が、季節性インフルエンザなど他の感染症と同様に医療が受けられるよう、外来対応医療機関を増やすなどにより、外来医療体制の拡充を進めてきたところ。

また、入院医療についても原則としてすべての入院医療機関による対応を進めるとともに重症度の高いコロナ患者のための病床を確保してきました。

より、広く一般的な医療機関による対応への移行が進み、県民への医療提供体制は確保されていると考えています。引き続き感染状況を注視しながら、医療機関等と連携して対応してまいります。

冬の感染拡大を想定

自民党代表 今後、冬に向けて感染が拡大した際には、どのように対応していくのか。

熊谷知事 国からは、10月以降の新型コロナウイルス感染症対策について、概ね順調に通常の医療提供体制への移行が進んでいることから、確保病床によらない形で

して参りました。国へ緊急に要望するもの、県で対応できるもの等、補正予算でしっかり対応していかねばと考えています。

いあこさし

自由民主党千葉県連の幹事長を拜命いたしました。 早や4か月が経過いたしました。ちば自民党の円滑な党運営と議員としての政治活動等、しっかりと役割を果たしていかねばと感じております。

また、9月25日に千葉県漁業協同組合連合会の役員の方々と懇談の機会を頂き、風評被害防止等の貴重なお話を頂き、今後の取り組みについて協議いたしました。

不登校児童への支援対策

今後、国の方針も踏まえ

学力向上への取組み

自民党代表 児童生徒の学力向上に、今後どのように取り組んでいくのか。

富塚教育長 子供たちが学習に意欲的に取り組み、基礎基本を身につけるとともに、思考力や表現力を育み、学力を向上させていくためには、教員が教材を深く理解した

休日部活動の地域移行

自民党代表 公立中学校の休日部活動の地域移行について、さまざまな課題がある中で、現在の取り組み状況はどうか。また、今後どのように進めていくのか。

富塚教育長 休日部活動の地域移行については、指導者や運営団体の確保などの課題、体制づくりに向けた進捗の差などもあり、各市町村によって状況が異なることから、一律に進めるのではなく、それぞれに寄り添った丁寧な対応が必要であると考えています。

ながら引き続き、医療機関等と連携し、発熱患者等の増加が想定される冬に備え、必要な方に必要な医療を提供できるように、しっかりと対応してまいります。



商工労働常任委員会で発言する阿部県議(右)

当該調査においてアンケートと個別の聴き取りを通して、児童生徒がどこからも支援を受けていない場合、その要因は何か、また、地域によって提供される支援に差はないかなど、実態を捉えた上で、効果的な施策の検討につなげてまいります。

上で効果的な指導を行うなど、日々の授業を充実させることが不可欠です。

このため、県教育委員会では、学力向上につながる授業アイデア例などをまとめたリーフレットの配布や優れた授業の動画配信を行うなど、教員の指導力向上に努めています。

要望 県教育委員会においては、市町村や学校、地域に向けては、丁寧な説明と正確な情報の提供をお願いし、生徒教職員はもちろん、保護者やスポーツ・文化団体の関係者、地域の方々が安心して地域移行を受け入れることができる環境づくりを進めるよう要望します。

した総括コーディネーターによる市町村の状況把握や助言、関係団体との連絡調整などの取り組みを進めています。

休日部活動の地域移行を円滑に進めるためには、広く保護者や地域の理解を得ることが不可欠であることから、今後も市町村への支援を継続しながら、県のホームページやリーフレット、SNS等さまざまな手段により、積極的な情報発信にも努めてまいります。